

有価証券報告書の 訂正報告書

(第87期)

自 2020年4月1日

至 2021年3月31日

協栄産業株式会社

東京都渋谷区松濤二丁目20番4号

(E01619)

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2022年6月9日
【事業年度】	第87期（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）
【会社名】	協栄産業株式会社
【英訳名】	KYOEI SANGYO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 平 澤 潤
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区松濤二丁目20番4号 (注) 2022年6月開催の第88回定時株主総会の決議により、 本店は下記に移転する予定であります。 東京都品川区東品川四丁目12番6号 品川シーサイドキャナルタワー18階
【電話番号】	(03) 4241-5511 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員 コーポレート本部長 村 本 篤
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区東品川四丁目12番6号 品川シーサイドキャナルタワー18階
【電話番号】	(03) 4241-5511 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員 コーポレート本部長 村 本 篤
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 協栄産業株式会社 3DP テクニカルセンター (神奈川県相模原市緑区大山町5番24号) 協栄産業株式会社 大阪営業所 (大阪府大阪市福島区福島三丁目14番24号 福島阪神ビルディング)

(注) 3DP テクニカルセンター及び大阪営業所は法定の縦覧場所ではありませんが、投資家の便宜のため縦覧に供しております。

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2021年6月25日に提出いたしました第87期（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

(税効果会計関係)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第5 【経理の状況】

1 【連結財務諸表等】

(1) 【連結財務諸表】

【注記事項】

(税効果会計関係)

(訂正前)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
(繰延税金資産)		
未払事業税等	41,209千円	20,362千円
賞与引当金	148,770	215,737
たな卸資産の未実現利益の消去	604	610
貸倒引当金損金算入限度超過額	20,549	193,391
事業構造改善引当金	155,986	178,429
固定資産減損損失	153,391	307,193
投資有価証券評価損	27,329	27,329
保証金評価損	41,634	41,634
退職給付に係る負債	2,592	—
税務上の繰越欠損金 <u>(注) 2</u>	55,385	90,090
その他	290,835	221,342
繰延税金資産小計	938,287	1,296,122
税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額 <u>(注) 2</u>	△55,385	△90,090
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	△868,916	△1,015,728
評価性引当額小計 <u>(注) 1</u>	△924,301	△1,105,818
繰延税金資産合計	13,985	190,304
(繰延税金負債)		
退職給付に係る資産	△133,454	△274,859
子会社の留保利益金	△17,278	△14,275
為替換算調整勘定	△26,171	△24,514
その他有価証券評価差額金	△378,522	△631,721
その他	△409	△1,023
繰延税金負債合計	△555,837	△946,394
繰延税金資産(△負債)の純額	△541,851	△756,090

(注) 1. 評価性引当額が181,516千円増加しております。この増加の主な内容は、当社連結子会社の協栄サーキットテクノロジー株式会社における将来の課税所得の見直し及び将来減算一時差異(法定実効税率を乗じた額)が183,500千円増加したことによるものであります。

(注) 2. 税務上の繰越欠損金及びその繰延税金資産の繰越期限別の金額
前連結会計年度 (2020年3月31日)

	1年以内 (千円)	1年超 2年以内 (千円)	2年超 3年以内 (千円)	3年超 4年以内 (千円)	4年超 5年以内 (千円)	5年超 (千円)	合計 (千円)
税務上の繰越欠 損金(※)	—	—	2,646	—	—	52,738	55,385
評価性引当額	—	—	△2,646	—	—	△52,738	△55,385
繰延税金資産	—	—	—	—	—	—	—

当連結会計年度 (2021年3月31日)

	1年以内 (千円)	1年超 2年以内 (千円)	2年超 3年以内 (千円)	3年超 4年以内 (千円)	4年超 5年以内 (千円)	5年超 (千円)	合計 (千円)
税務上の繰越欠 損金(※)	—	—	—	—	—	90,090	90,090
評価性引当額	—	—	—	—	—	△90,090	△90,090
繰延税金資産	—	—	—	—	—	—	—

※ 税務上の繰越欠損金は、法定実効税率を乗じた額であります。

<略>

(訂正後)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
(繰延税金資産)		
未払事業税等	41,209千円	20,362千円
賞与引当金	148,770	215,737
たな卸資産の未実現利益の消去	604	610
貸倒引当金損金算入限度超過額	20,549	16,402
事業構造改善引当金	155,986	178,429
固定資産減損損失	153,391	307,193
投資有価証券評価損	27,329	27,329
保証金評価損	41,634	41,634
退職給付に係る負債	2,592	—
税務上の繰越欠損金(注)	55,385	90,090
その他	290,835	221,342
繰延税金資産小計	938,287	1,119,133
税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額(注)	△55,385	△90,090
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	△868,916	△838,738
評価性引当額小計	△924,301	△928,828
繰延税金資産合計	13,985	190,304
(繰延税金負債)		
退職給付に係る資産	△133,454	△274,859
子会社の留保利益金	△17,278	△14,275
為替換算調整勘定	△26,171	△24,514
その他有価証券評価差額金	△378,522	△631,721
その他	△409	△1,023
繰延税金負債合計	△555,837	△946,394
繰延税金資産(△負債)の純額	△541,851	△756,090

(注) 税務上の繰越欠損金及びその繰延税金資産の繰越期限別の金額

前連結会計年度(2020年3月31日)

	1年以内 (千円)	1年超 2年以内 (千円)	2年超 3年以内 (千円)	3年超 4年以内 (千円)	4年超 5年以内 (千円)	5年超 (千円)	合計 (千円)
税務上の繰越欠損金(※)	—	—	2,646	—	—	52,738	55,385
評価性引当額	—	—	△2,646	—	—	△52,738	△55,385
繰延税金資産	—	—	—	—	—	—	—

当連結会計年度(2021年3月31日)

	1年以内 (千円)	1年超 2年以内 (千円)	2年超 3年以内 (千円)	3年超 4年以内 (千円)	4年超 5年以内 (千円)	5年超 (千円)	合計 (千円)
税務上の繰越欠損金(※)	—	—	—	—	—	90,090	90,090
評価性引当額	—	—	—	—	—	△90,090	△90,090
繰延税金資産	—	—	—	—	—	—	—

※ 税務上の繰越欠損金は、法定実効税率を乗じた額であります。

<略>

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の2第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2022年6月9日
【会社名】	協栄産業株式会社
【英訳名】	KYOEI SANGYO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 平 澤 潤
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区松濤二丁目20番4号 (注) 2022年6月開催の第88回定時株主総会の決議により、 本店は下記に移転する予定であります。 東京都品川区東品川四丁目12番6号 品川シーサイドチャンネルタワー18階
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 協栄産業株式会社 3DPテクニカルセンター (神奈川県相模原市緑区大山町5番24号) 協栄産業株式会社 大阪営業所 (大阪府大阪市福島区福島三丁目14番24号 福島阪神ビルディング) (注) 3DPテクニカルセンター及び大阪営業所は法定の縦覧場所では ありませんが、投資家の便宜のため縦覧に供しております。

1 【有価証券報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社取締役社長平澤潤は、当社の第87期（自2020年4月1日 至2021年3月31日）の有価証券報告書の訂正報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。